横浜市立鴨志田緑小学校

学校 HP 更新中　鴨志田緑小学校　検索

学校だより　１２月号

令和４年 11 月 30 日発行

ふるさとに学び　ふるさとで遊び　ふるさとを愛する子　～ふれあいかがやき豊かな心～

本に親しむ

校長　　杉山　波也

日に日に寒さが増し、冬の訪れを肌で感じる今日この頃です。夜、車を走らせていると、ツリーやトナカイの電飾や街路樹に施されたイルミネーションの光が目に映り、少し華やいだ気持ちになると同時に、「今年もあと少しだな。」という気持ちになります。

さて、鴨志田緑小に関する問題です。「本校の図書館には何冊本があるでしょうか？」

休み時間になると、お気に入りの本を読もうと子どもたちが図書館にやってきます。じっくりと一人で読書を楽しんでいる子もいれば、絵本を一緒に見ている子たちもいます。図書館には季節に合わせた飾りやふと立ち止まってしまう掲示や本の紹介コーナーがあります。これらは、図書館ボランティアの方々が作ってくださったものです。どれも工夫を凝らした素敵なものばかりで、図書館を明るく、温かい雰囲気にしてくれています。また、図書委員の子たちが「読書マラソン」（本の返却の際スタンプを押してもらい、たまるとしおりがもらえる）を企画してくれたこともあり、多くの子どもたちが読書に親しんだ 11 月となりました。

最近、子どもたちに人気な本を学校司書に聞いてみました。

【爬虫類（ヘビ、トカゲなど）の写真絵本や図鑑】

【危険生物の図鑑】

【人気キャラクターが出てくることわざや熟語辞典、絵本、小説】

【怖い本（小説、図鑑、絵本など）】

他にも、サバイバルシリーズや折り方が細かくリアルな作品ができる折り紙の本なども人気があるそうです。

私は小学生のころ、活字ばかりの本を読むことが苦手でした。ある日、地元の本屋で、メキシコオリンピックのサッカーに出場し、得点王となった釜本邦茂さんのことが書かれた本を見付けました。少年時代のエピソードやサッカーに対する思いなどが書かれていて、当時、サッカーが大好きだった私は時間を忘れ、一気に読み終えたことを覚えています。それまで一冊の本を最後まで読んだことはありませんでした。この本との出合いがきっかけで、少しずつでしたが自分の興味のある本を探し、登場人物と自分の生き方を比べながら読書をすることを楽しむようになりました。

読書は自分の視野を広げたり、考えを深めたり、感情を揺さぶったりしてくれます。本校の図書館はとても素敵な環境です。最初は漫画や図鑑がスタートの子もいるかもしれませんが、まずはいろいろな本に親しむことが大切だと思います。そこから読書の幅を広げていき、読書を通して自分自身の生活を豊かにしていってほしいなと思います。

最後に、問題の答えは・・・「8539 冊」でした。今後も、子どもたちの興味のある本や学習に役立つ本を増やしていけたらと思います。